第　1　学年　　音楽　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>中学生の音楽１（教育芸術社）
中学生の器楽（教育芸術社）
ジョイフルソング</td><td>持ち物</td><td>・使用教材と筆記用具
・ファイル（楽譜やプリント類）
・アルトリコーダー</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">・持ち物のチェック
↓
・本時の「めあて」を提示し、授業の目標を明確にします。
↓
・歌唱活動や鑑賞など取り組みます。
↓
・本時の振り返りを行う。（ワークシートなど）
＜テストについて＞
・前期、後期制で評価がつきます。２学期の中間テスト３学期の期末テスト時に、筆記テストを実施します。学習したことが定着しているか確認します。
・実技については、授業の中で「実技テスト」を行います。
＜学び合いについて＞
・歌唱や器楽の演奏において、パートごとやグループに分けて活動し、互いに協力し高め合いながら学びの向上を目指しましょう。
・鑑賞など、グループなどの活動を通して、感じ取ったことなど意見を共有しあいながら、幅広い感受の育成を目指しましょう。
※様々な活動においては、感染の防止につとめた上での指導を行います。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、所定の座席に座りましょう。
・持ち物やアルトリコーダーは自分で管理しましょう。
・忘れ物のないように音楽室に持ってきましょう。
・グループ活動は、パートやグループで協力しましょう。
・共有する楽器（箏、ギターなど）やそれに付随する道具などは、丁寧に扱い、準備・片付けも各自責任を持って行いましょう。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画			評価の観点　評価の方法(見取り)		
一学期	4 5 6 7	オリエンテーション 歌唱「校歌」 歌唱曲 楽譜の書き方 鑑賞　映画音楽 「ジョーズ」のテーマ 鑑賞「春」 器楽(アルトリコーダー)の導入、基礎・基本 「喜びのうた」			知識・技能	音楽記号、用語など音楽的な知識が身に付いている。各単元においての内容をきちんと理解している。歌唱やリコーダーなど、正しい演奏方法を理解し、実践できている。また、音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	・実技テスト ・プリント記入内容 ・授業の取り組み
					思考・判断・表現	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽の様々な要素をとらえ、評価しながら、そこから生み出されるよさや美しさを味わって聴くことができ、文章などで表すことができる。	・プリント記入内容 ・授業の取り組み
二学期	9 10 11 12	合唱曲 「選択曲」 鑑賞 「魔王」 日本の歌 「赤とんぼ」 器楽：アルトリコーダー 「オーラリー」 「アニーローリー」 アジアの民族音楽			主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、主体的・協同的に、歌唱活動や、器楽の演奏、鑑賞などの学習活動に取り組もうとしている。	・振り返りプリント記入内容 ・プリント記入内容 ・授業の取り組み
三学期	1 2 3	日本の伝統音楽 「箏」 鑑賞 箏曲「六段の調」 雅楽「越天楽」 日本の民謡 合唱 「卒業式　式歌」					